

高畠高等学校生徒と県議会議員との意見交換会開催状況

開 催 日 時	令和5年9月7日（木）10時50分～12時40分
開 催 場 所	山形県立高畠高等学校（高畠町）
出 席 議 員	小松伸也、五十嵐智洋、遠藤和典、梅津庸成、阿部恭平
参 加 者	生徒16名
意見交換の概要	<p>山形県の将来について、①人口増、②教育、③若者定着、④観光発展の4班に分かれてワークショップ形式で意見交換を行った。また、生徒が各班で取りまとめた内容を発表した。</p> <p>【主な意見等の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口を増やしていくためには東京で山形の野菜を売るイベントを開催するなど、積極的に魅力を発信する必要があると思う。 ・人口増には交通網を整備しなくてはならない。電車の本数を増やすだけでなく、接続するバスなど目的地までのアクセスや地元の人たちの利便性を考えた仕組みを考えなければならない。 ・校則が今の時代に合っていないと思う。私立高校は比較的自由な校則になっていると感じるが、公立高校も学校の押し付けではなく生徒が話し合っ校則を変えていくべき。 ・先生の労働時間を見直す必要があると思う。教育委員会は教職員の労働時間を見直すためにアンケートを取り、労働時間の改善や部活動の地域移行の促進に取り組んでほしい。 ・若者定着には山形の魅力を発信する方法として、ストーリーズ機能の利用やインフルエンサーの活用が有効。しかしながら、自分たちが山形のいいところを知らないことが欠点になっている。 ・山形県の国際交流が遅れていると感じる。コロナで交流が停止してしまっこともあるが、国の支援なども求めながら取り組んでほしい。 ・観光PRでSNSによる広報活動をもっと活発にしてほしい。日本人が見たいものと外国人が見たいものは違う。高畠町の町民は優しい人が多いので、人を観光資源として活用したり、里山が外国人に魅力的に見えることを広めて、効果的な発信方法を考えてほしい。 ・若い人を高畠町に呼ぶには「美味しいものがある、かわいいカフェやお店、写真映えするポイントがある、賑やか」など若者のニーズを捉えた発信が重要。